

## 事業計画策定にあたってのポイント

		注意点	ポイント
補助事業との 合致性	1	地域経済の好循環を創出できる効果が期待できますか	補助事業が自社だけで完結せず、地域経済にとってどのような役割を果たせるかを示す方法が考えられます。
	2	経営の拡大に貢献する取組みとなっていますか	具体的な取組みや成果を示すことで、採択の可能性が高まります。
	3	現状の事業領域や規模、経営ノウハウなど、無理なく自走可能な経営環境を構築できる計画となっていますか	自社の現状（年商や人員、自社の強みなど）を整理したうえで、それらの経営資源活用によって自走可能であることを説明する方法などが考えられます。
事業の実現性	4	補助事業活動が円滑に行えると期待できる内外の事業体制となっていますか	補助事業を実施するにあたって、事業体制や社外の協力体制によって、事業が円滑に行えるかを検討し、説明いただくことで評価が高まります。
	5	投資に見合った収益が見込める計画となっていますか	自社の現状（年商、保有資金、人員など）と補助事業の投資規模が無理の無い範囲で、事業投資に対して高い収益が期待できる事業となっている必要があります。
	6	市場環境や社内環境から見て実現可能性の高い計画となっていますか	市場規模や市場ニーズ、競合などの市場環境と自社取組みを照らして、実現の可能性の高さを説明する方法が考えられます。